

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 15日

事業所名 アダージョ 保護者等数(児童数) 38 回収数 22 割合 57 %

	チェック項目	評価			ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ わからない	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	4		室内スポーツやゲームを主とし、運動等は外の講演で行います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	2	4	人員配置図を作成して説明します。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	6	7	設備や環境の配置図を作成します。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	22			振り返り・面談・モニタリング・原案作り・担当者会議を経た上で、作成されます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	21		1	今まで通り、1週間ごとに内容やルールなど変えながら活動の設定をしていきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	2	3	12 児童クラブと相互乗り入れの相談し実践できるよう努めます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22			契約時に詳細に説明しています。追加は都度請求書をお渡しするときに説明します。報酬改定時は覚書を交わしていきます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	1		今後もしっかりと密に行っていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	1		今後も相談支援をもっときめ細かく行っていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	18	1	3	内容も幅広く情報を発信して、親子含めた場の共有活用に努めます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15		7	苦情や要望があれば開示して、その対応を発信していきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22			今後のことも考えて手話等の手段方法を取り入れていきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	4	6	ホームページを更新して毎月の活動内容などを載せてほしい
14 個人情報に十分注意しているか	18		4	4 注意管理の方法を開示していきます。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	2	5	5 開示していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22			開示していきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	21	1		様々な活動やものづくりがあり楽しみにしている。もっと楽しみにしてもらえるように取り組みます。
	18 事業所の支援に満足しているか	21	1		実際に感じてもらえるレベルに引き上げます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。